

# 平成20年度宝くじ助成事業成果概要

## 企画部

河川は、水と緑のオープンスペースとしてうるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、社会の河川空間に対する期待と要請は、近年一層高まっています。

当センターでは昭和62年度より、良好な水辺空間の形成や水辺整備の事業効果・必要性に対する一層の理解を図ることを目的として、(財)日本宝くじ協会の支援を受け「水辺空間整備に関する広報活動事業」を実施しています。平成20年度は50,000千円(税抜)の助成を受け、全国の市町村を対象にした水辺施設の設置及び水辺空間整備に係わる調査研究成果に関する出版物の作成を行いました。

### 1. 水辺施設の設置

水辺施設は、水辺空間の快適性や豊かな自然環境の向上を目的として、市町村を対象に公募し、水辺施設選定委員会に諮り選定された6ヶ所に設置しました。その内訳は、「アメニティ」の向上に寄与する施設3ヶ所、「生物の生息環境」の向上に寄与する施設3ヶ所で、内容は以下に示すとおりです。

- ・福島県いわき市：あずまや(藤原川水系湯本川)
- ・茨城県取手市：展望台・あずまや(利根川水系利根川)
- ・千葉県香取市：自然再生護岸(利根川水系黒部川)
- ・滋賀県守山市：木工沈床、水路壁面緑化(淀川水系丹堂川)
- ・兵庫県小野市：あずまや(加古川水系山田川)
- ・香川県宇多津町：ピオトープ(大東川水系古川)

平成21年度も引き続き宝くじ協会の支援を受け、本事業を実施する予定です。昨年(平成20年)の11月から今年1月にかけて募集し、3月の選定委員会に諮った結果、栃木県那須町、茨城県下妻市、千葉県白子町、香川県多度津町、徳島県鳴門市、鹿児島県鹿児島市の計6箇所が選定されました。ご応募いただいた各市町村に対し、感謝申し上げます。

### 2. 出版物の作成

出版物は、以下の5冊を作成し、民間団体や地方自治体、図書館や学校、国等に配布しました。

- ・『水どころ 旅どころ～観光資源としての水辺を考える～』
- ・『水辺のある暮らし 平成19年度「川に学ぶ」活動事例集』
- ・『河川生物の絵解き検索～水生昆虫と小動物～第版』
- ・『河川における外来種対策の考え方とその事例【改訂版】』
- ・『水辺のミュージアム Vol.2』



福島県いわき市  
(藤原川水系湯本川)



茨城県取手市  
(利根川水系利根川)



千葉県香取市  
(利根川水系黒部川)



滋賀県守山市  
(淀川水系丹堂川)



兵庫県小野市  
(加古川水系山田川)



香川県宇多津町  
(大東川水系古川)



出版物5種